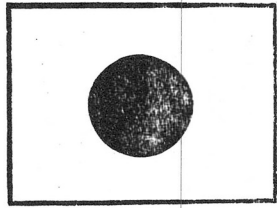


久長運武祈



長野縣下伊那郡竜丘村大字
時又三
編輯兼發行人 沖田一郎
印刷所 信濃産業新報社
發行所 竜丘青年會
代表者 下平三郎

丘の副業陣を觀る

農村の副業は時代の潮流によつて時代の要求利害等によつて違つて行くの觀がある。二十年前迄は村をあげて製紙を業として居たのであるが今日では村内でも其の紙すきを業として居る家はわずかにあるのみです。一昔前迄は副業であつた養蠶業が今では生活を左右する本業となり米作が片手間仕事となつたのも時代の潮流で思へば不思議なものである。

現在村當局では農閑期副業には大いに力こぶを入れて産業組合、農會等々で色々の面で支援して居るのであるけれど現在では近村に比して今一步

戦線の將兵へ

竜丘村長 代田市郎

興亞の聖戰に一死奉公致し一年有半上海に抗洲灣に或はパイアス灣に敵前上陸を敢行し徐州の會戰に南京漢口の攻畧戦に輝く殊勳を樹て青史に巨歩を印した將兵諸君の御勞苦に對し謹みて感謝の意を表するものであります。然し其間に本村として數名の散華せられし勇士諸君の事を想到する時誠に感慨無量のものであります。

私共は村内各種團體一致協力して出來得る限りの銃後の勉を全ふし度念願を以て終始してあります。御心配の中にも

銃後より

下平廣志

は本業の養蠶より収入が多いと聞く、我村で當業者にも今後益々充實した進歩をなす様望をかけて居る。

時代の尖端を行く副業として軍手製造業も近年村内に於て行はれつゝあつた農閑期副業として家庭で出來得る副業として婦人子供迄出來る誠によい仕事である。販途は廣く無制限では有けれど今日綿糸統制に依つて原料難では有けれど軍人にも地方人にも必需品であるから必ずこの難路開拓は出來得るの確信である。

この外農閑期に於ける副業としては誠に僅少である。傘の製造、納織、等々あるけれど村内でも一部分に行はれてゐるのである。冬期間の仕事として出稼に行く人々も多數あり又人手不足の今日より日當

戦地の皆様へ

國婦長 代田てい

立春とは申ながら寒氣厳しき折柄皇軍將士皆々様には益々御元氣にて御國のため遠き戦野に御不自由を忍び日夜御奮闘下さいませ。御勞苦に對しましては何とも御禮の言葉もありません。當方よりはいつも御無沙汰ばかり致して居りますが一同銃後の護りに精進致して居りますから御安心下さいませ。

日支事變が始まりまして一年有半皇軍は陸海空軍共に連戦連勝國威を海外に輝かし北中南支到る處頑敵を破り偉大な戦果を収めましたことは上大君の御威威の然らしむる所ではあります。忠勇無比なる皇軍將士皆々様の多大なる御勞苦でありまして謹みて限りなき感謝を捧ぐると共に聖戰のため散華なさいました御英

小室上等兵宅を尋ねて

二月十二日故小室上等兵宅を尋ねた。挨拶の後佛前に向うありし日の同君の寫眞がもの云はぬばかりに祭られて居る。祈禱を済し招じられるまゝに嚴父三郎氏の當時の様子、心境などを拜聴した。理三郎氏は目下病床にある身ながら病む人とは思はれぬ力強い言葉で次の様に語られた。

晴男が人營する門出の時に「御國の爲めにしつかりとやつて來い決して父や家の事は心配するな」と勵ましてやりました。私も昨秋より病床の人となりかけたけれど晴男には心配掛けないと思ひ知らせずには居ないのです。今度名譽ノ戰死の公報を受けた時に皆々様に厚い御世話様になり

双刃劍

慰問號と名打つて發刊せり多數な方面より御寄稿下されし事感謝の外なし。

限りある紙面上全部掲載出來得ないのは誠に残念御寄稿者各位も思からず。

▲愈々四日一日に警防團の誕生村當局での組織や如何村民皆團員の心掛でなければ眞の警防は出來ないですぞ

▲青年團二部の生聲高し實現も速からん事

▲今一度團員となつて悲しむ人に喜ぶ人!!

▲桐林區出身の林悟軍農再度一日も早く全快せられん事を祈る

▲下田曹長塩澤軍曹以下〇名は目出度く〇〇せり

▲武勳をヒゲで物語りつゝ、糸値も愈々千圓台實現す

▲長年振りで養蠶家連もエビス類次回の配當を連もエビスだが御油斷メサルナ各位よ議會では増税案が可決しましたぞ

▲三回目を共同出荷す、頭數第一頭關西へ向けて。アワテ、賣るまいぞ仲仕に喰れまいぞ組合員亦自重し組合の爲の爲しつかり頼むぞ

▲兵隊さん諸君の益々御健康と武運長久を祈り

▲興亞の人柱となりし小室君へ謹みて哀悼の意を表す

の礎石はなり聖業達成の階段は展開されました。是偏に大稜威の下將兵皆々様が身を培つての御奮戦の賜でありまして謹みて感謝の誠意を披瀝する次第であります。此の聖業達成のためには外交に、思想に、經濟戰等々あらゆる難局も今後展開されるべきを深く認識し學國一致堅忍持久國家總力の下此の打開に邁進の覺悟を益々痛感し如何なる障礙も如何なる苦難も克服排除して以て將兵皆々様をして後顧の憂なからしめなくては相濟まぬと存じます。事變以來三ヶ年を回顧して益々決意を固め尊き英靈に對し謹みて哀悼の誠を捧ぐると共に將兵皆々様御勇健と武運長久の程を御祈申上げ御慰問の詞と致します。

○日出發して只今は〇〇へ來て居ます。今迄居た所より余程奥へ入つて居ます。此處幾ヶ月か住み慣れた所に、私も到着するや今村上等兵殿と面會し、互に過去の手柄話等をして暫らく楽しんだ様な次第でした。又暫の間はこの地に於て御奉公出來る事と思ひます。

塩澤伍長殿は勤務場所が遠くなりましては一所になり得る所に別荘に淋しいとは思ひませぬ。中興、色々と取とめなき事を書きましたが、先ずは嚴寒の折柄父上様を始め皆様の御健康と御多幸を遠く支那の大陸よりお祈り申上ります。

昭和十四年一月廿七日
晴男
父上様

祖國線に立つ皆様

林一夫

聖戰第三次の新春を迎へ、遙に第一線に立つ皇軍將士の日夜奮闘される姿を想ひ浮べて感謝の念に堪へません。朝日四海に輝き聖戰の目的達成の爲、國家總動員の下に東亞新秩序の建設途上にある今日、朝風すさぶ内蒙の討匪の日を重ねつゝ山西の奥地に、硝煙尚ほ漂ふ武漢の地に將又椰子の葉茂る南支に、あるいは大地凍る北滿國境に至るまでも今日の一時時は、銃後はもとより戦線銃後は開かず、聖壽の萬歳を三唱し新大アジア新東亞建設の歡喜に胸躍せられた事と思ひます。大陸の黃塵惡疫炎暑も眞夏の候も過ぎて寒風吹雪吹まく白皚一望千里の曠野に一点一人立つ歩哨の姿、最前線に立つ斥候の心中、彈藥食糧の運搬勞苦の姿……

愛國行進曲

小林良雄

長野青年會では今年も例により一月十日より廿日まで十一日間寒稽古を致しました今年には少い會員の中から數名の出征者入植者あり、又銃後産業報國の爲めに出席出來ぬ者等もあつて、結局青年會員では二三名きりでしたが今年には小學生が十數名参加し、剣道に、坐り角力に体操に非常な元氣でした。小學生は眞面目です。午前五時開始と云へば五分前には必ず皆集つて來ます。全員遅刻したのは唯の一回、或る朝など私は四時前に叩き起され全く閉口は致しましたけれど實際何とも云へぬ力強さを感じました。それからもう一つお知らせしたい事は、稽古後小學生の中數名が青年連を助けて毎朝凍りつく道場に水で雑布掛けをした事です。零下十度に降つた日も何度か、私達でさへ随分辛いと思ひました

午前六時、稽古を終へ掃除を済せ、神々しい金星の煌く下で高らかに歌つた我等の愛國行進曲——戦地までは聞えなかつたでしょうか？ 一月廿一日には今年もオロ待チを致しました。例の如く村中集會所に集り神様を祭り三斗五升の結飯と大人は御酒に子供は煎餅大層賑かでしたオロ待チと云ふと長野原から出て居られる方々はきつと、昔、今朝サが女の赤い襦袢を着て入齒を抜き、鼻に折箸をさして踊りを踊つた事を思ひ出される事と存じます。青年會では同夜二時までかゝつて試験會、丸野屋のお墓と戦死した讓マのお墓へ行きました。草木も眠ると云ふ丑三時、私は一番最後に行きました。月明りにお石塔や木々の間を際かして見、脚のあるオ化ケが隠れてゐて呉れぬと知つた時私は急にオツカナクなり、硯の墨がすつかり凍つて字が書けなくなつてゐるのをい

事に、硯と紙と自分で吊しておいた白いオ化ケとをひとつつかんで大忙ぎで逃げて來ました。そして名前は集會所へ歸つてからこつそり書いたけれど之は内證々々。支那事變勃發以來、一年半の月日が経ちました。第一線の皆様にはほんとに御苦勞様です。君國の爲め私共に代つて一年半の長い間、毎日想像もつかぬ程の苦勞をして來られた皆様に対し、何等成すところもなく一年半の月日を隣りに申すやうな思ひを私には非常に申すやうな思ひ同時にこのだらしない自分に腹が立ちます。新聞を見、お便りを拜見し、待命隊隊員士の尊い實戰談を承りました。時々急に憤憤は致しますけれど、此の支那事變を通し、銃後を守る私共の心に眞剣な宗教——信仰心が芽生へ始めて來ました。第一戦に働いて居られる皆様のために心から祈り又日本の爲めに東亞の爲めに人類の爲めに、そうしてその最も根本的な問題であるべき自己完成の爲めに熱心に祈つて居ります。(昭、十四、三十一)

父さん、兄さん

僕等は元氣だ

窓より

ほたるの光り窓の雪 文よむ月日重ねつゝいつしか年もすぎのときを あけてぞ今朝は別れ行く

尋一女 塩澤律子

ヘイタイサンオマメデスカ。私モマイ日ゲンキデガツカウヘカヨツテキマス。モウデキニ年生ニナリマス。ヘイタイサンノキルトコハ、オサムイデセウ。コチラモ三日バカリ前ニ雪ガフツテサムクアリマス。ヘイタイサン、ハヤクセンソウニカツテクダサイ。オカラダナイジニシテ、ワルイシナノヘイタイヤツツケテシマツテクダサイ。

兵隊さんへ

尋三女 下田千恵

戦地の兵隊さん、皆元氣でゐますか。私達は皆元氣でゐます。二月四日は節分です。豆まきをしました。兵隊さん、もう正月もすつかり過ぎてしまひました。私はお正月がもつと幾日もあればいいがなあと想ひます。私達は朝學校へ行く時に足がつかないけれども、戦地の兵隊さんの苦勞をおもへといつては元氣をつけてゐます。私は兵隊さんが支那の陣地をにらみつけてながら、あられの様にとんで來る彈丸の中を、日本の兵隊さんが勇ましく飛込んで行く所が目に見えて來ます。それから大砲や飛行機がうなりを立てるのが耳にはいつて來る橋な感じがします。私は兵隊さんが無事にお販りなれるやうお宮の前を通る度に神様によくお参りをして居ます。兵隊さん安心して下さい。兵隊さんも毎日御苦勞様で御座ります。日本の國の爲め、天皇陛下の御爲に一生けんめいにつくして下さい。兵隊さんさようなら。兵隊さん萬歲

尋一女 伊藤みさ子

兵隊さん戦地はうんと寒いのでせう。竜丘も二月になつてすつと寒くなりました。今年は一月中は雪はたんと降らなると二月になつたらうんとたくさん降りました。竜丘は一番降つた時は廿位降り積りました。私達は雪が降ると犬みたいに喜ぶけれども、山へ木を切りに行く山切のお父さんたちはかなしがつて居ます。私達は元氣よく雪合戦をしました。又人の通らん所で雪すべりもします。二月四日は節分です。豆まきをしました。兵隊さん、もう正月もすつかり過ぎてしまひました。私はお正月がもつと幾日もあればいいがなあと想ひます。私達は朝學校へ行く時に足がつかないけれども、戦地の兵隊さんの苦勞をおもへといつては元氣をつけてゐます。私は兵隊さんが支那の陣地をにらみつけてながら、あられの様にとんで來る彈丸の中を、日本の兵隊さんが勇ましく飛込んで行く所が目に見えて來ます。それから大砲や飛行機がうなりを立てるのが耳にはいつて來る橋な感じがします。私は兵隊さんが無事にお販りなれるやうお宮の前を通る度に神様によくお参りをして居ます。兵隊さん安心して下さい。兵隊さんも毎日御苦勞様で御座ります。日本の國の爲め、天皇陛下の御爲に一生けんめいにつくして下さい。兵隊さんさようなら。兵隊さん萬歲

尋一男 下平文平

竜丘村出身のみな様、未だ堪へ難き寒さにもかゝらず、みな様には北中南支の膺懲の第一線に御活動のこと、御推察致します。願ひますれば、一昨年蘆溝橋事件突破以來、一昨年蘆溝橋今や北中南支一帶は我が軍の手中に収めてゐることはみな様の汗の賜と厚く御禮申し上げます。みなさまの御様子はラデオに

短歌

銃後の乙女

一、命捧げし武夫に 何を酬いん銃後の乙女 心合せてカルサン姿

二、丘の殘雪踏みしめて 軍歌歌うて山路を急ぐ 働く身にはゆるぎなし

三、背なけに負ひたる重荷をば 皇軍將士を思ふ時 又もろとも意氣こめて

四、今日も勤みし明日も亦 勤勞二字を忘れず 勵めよ銃後の丘の花

朝晴雪 みさと

軍人かしまちする廣前の 清けき雪に朝日かよふ

参賀

年ほきにのほる宮人み功の 胸のしるしに初日きらめく 歸郷勇士を迎へて

雪を吹き吹く梅のこと戦の にはより歸るつはもの芳し 戦死勇士を悼みて

君のため花と散りにし益良夫 其の名は千代に薫りけるかな

路臺

むら消えの雪をよけつゝふき のたうさ青にもえぬ小田のほ とりに

下平松雨

理解の愚將下にある國民政府は抗日の夢未ださめずある少数の軍事的經濟的援助のもとに尙長期抗戦を叫び、首都南京を始め重要所を落されながらも尙正義日本に双方向の東洋永遠平和を破壊せんとす

る蔣政権を亡し、日本と手をとり合つて進まうとする中華民國臨時政府の發展に御盡力下さい。 當方は今迄に積雪約五六寸の降雪が二度許ありました。もう立春も過ぎましたからだん／＼暖くなること、おもひます。我々も銃後第二國民の本分を盡し、國策に沿ひながら學業に勵んでをります。みなさまの子兄弟と共に。 最後に遠い竜丘より武運長久を祈り上げます。

高一女 久保田よしゑ

北支中支は南支に御活躍下さいます兵隊さん方、寒さ厳しき折から御變りありませんか。内地では一月降つた雪がとけて道がよくなり出した所へ又此の二三日雪が降つて一面が銀世界のやうです。男の子は喜んで雪の中をころげまはります。私が家事の手傳をしてゐると外で萬歳々々といふ聲がしましたので、私は外へ出て見ると、男の子が田んぼの中で雪連騰をトーチカとして、其上へ日の丸の旗を立ておもちの刀や機關銃を持つて戦争ごっこをしてゐました。私達の村では婦人會や女子青年團の人達が各家を訪問して、廢物品を集めこれをお金にかへて献金したり、出征家族慰安會などを度々行つて淋しくお留守をまもる御家族の方々をお慰めしてゐます。私たちが出來るだけ家のお手傳をしたいとおもひます。ぴゆう／＼北風の吹く中で働くのは寒くてつらくありますが、戦線で寒さに負けず戦つてをられる勇ましい兵隊さんの事をおもへばこれぐらゐの寒さは何でもありません。どうぞ内地のことは御心配なくお元氣で御奮戦して下さい。御無事で凱旋の日を楽しみにお待ちしておりますをります。さよなら

守は固し 丘の青年學校

時恰かも國民精神總動員、日本精神發揚週間、此所に丘の青年學校に於ては、此の趣旨に添ふべく、氷點下身を切る黎明の嚴寒を突いて、午前五時半當校々堂に集合し、若き熱と氣合に依つて寒さもけし飛ぶ掛聲も頼もしく寒稽古が實施される。

又一方寒稽古の暇に心を合せ寒さものかはと嬉び勇んで、莫大二千數百貫の薪割に

從事せる其の姿を見たる時、嗚呼！頼もし、長期建設の段階に、將來の第一線に、又銃後を守る中堅と成行く青年に此の犠牲的精神の發露こそ村民各位と共に嬉ぶ可き事實では無いでしょうか。

去る十日朝を以つて寒稽古も終了し尙引續き學科の暇に薪割りは着々と實行されつゝあります。

此の薪割りに當られた、少

産青聯協議會の今後の動向

二月七日日本村産青聯支部では隣村と協議會開催左記事項につき研究協議した。

一、協同報國運動實施に關する件

二、村聯盟活動促進の件

三、時局下物資統制に關する件

三の事項につきは購取聯より係員出席戦時下の物資統制につき肥料、飼料、雜貨につき慨説した。

席上産青聯支部の活動強化の

爲組織に關する意見が出て、結果各實行組合單位に現在の青壯年層全員を包含する組織となし加盟年齢を二十一才から三十五才迄となし各實行組合に班長一名宛を置き班長會を以つて役員組織となす事に決定した。

事業は村内産業組合、養蠶實行組合、農會等産業諸團體の指導の下に銃後經濟更生の具體的事業の協力をなす事である。

防献金托鉢と記せし白布を襟に縫ひつけしのみにて其の趣旨徹底せざりしにも係はらず金十五圓七十八錢白米全部賣却代金四圓卅錢合計金二十圓〇八錢の喜捨を受けしは深く感謝する所に候全部本村役場に納め献金の手續を御願申候何れ國防又は銃後々援或は厚生等の爲め重ねて村内は申迄もなく他町村迄も托鉢すべき時機もある事と存候其際は三輪清淨の御思召にて應分の喜捨を仰ぎ度く御禮に併せ御願申す次第に候

國家非常時の下報國の一分にとも塞念佛托鉢修行すべく竜丘光明會員有志數名は去る一月廿八日より卅一日迄毎日午前八時半より午後五時半迄四日間互に村内七分通り外に(川路村の一部)巡行せしも都合上全村巡行すること能はざりしは遺憾なりき。

東亞建設の闘士として大陸征野に銃執る吾等が先輩に對して、青年學校生徒一同心をこめて慰問袋を贈らんと、健康な赤誠こそ吾等の感激する所であります。

銃後の守りは吾等の精神的團結から始るのだ、と更めて記してペン置く。

三五、K、S、S記

歩兵上等兵 小室晴男君

の戦死を謹みて哀悼の意を表す。

小室君は上川路區出身にして山本部隊に屬して活躍した勇士である。

中堅青年講習會へ行け!! 若人諸士

第八回郡下農村中堅青年講習會は、三月七日より十三日迄の一週間開催すと決定せり。

我丘の中堅青年諸士は此の意義ある講習會に参加なし以つて、村前途發展の基礎になさん事を望む。

講習生資格者は左の通り

農業に従事しつゝある青年にして將來農村諸團體の中堅なるべき者、ならびに部落指導員となるべき者にして、村農會長の推薦者なる事。

年齢はなるべく廿才以上、身体壯健にして農業報國の意志強固なる青年なること。

推薦状には順位、氏名、年齢、努力強度、職業等を明記し、二月廿五日迄に郡農會長あて出すこと。

以上

兵慰問金募集 出征音楽會

非常時局銃後を背負つて立く本村男女青年會教育部長は三月十日午後七時陸軍記念日の佳節を卜し恒例音楽會を開催することに決定

時局に相應じて出征兵遺家族は別席に優遇して慰安に供すると共に東亞新秩序建設の爲の夕、風の朝、飢渴を忍び寒暑に耐へ、硝煙彈雨を冒して兵馬の間を往來し、慈愛に富める父母妻子等と絶ち難き

恩愛のき絆を絶ちて身命を捧げてゐる前線の將兵の慰問金を募集して前線に送り、身も心も疲れてゐる將兵の勞を稿ひ又意氣を激勵して銃後青年の活動の一端を示すものであります。

村の皆様の有意義なる音楽會をよくも解され、遺族と共に一夜の慰安をされ平生の冗費をはぶきて御同情され慰問金へと御願ひ申上ます。

若き血に燃ゆる 青年大會開かる

如月の空、春訪れる頃、時は來る廿六日、龍峽七ヶ村男女青年一堂に會し、此所に銃後青年の意氣高らかに團員大會が催される事になつた。

此所に其のプランを示せば、午前九時各單位青年會々旗を先頭に竜丘小學校々堂に集合し、代表選手に依る對抗試合の幕は切つて落さる。……

此所に勝敗を決し、晝食。午後一時時又劇場に整列、團員大會並に女子支部創立大會が壯嚴の裡に行はる。

次いで各代表辯士の滔々たる雄辯會に入り終つて夕食、やがて夜に入れば一同くつろいで時局映畫の觀賞をなし各々吾が村懐しと歸り行く。尙此所に吾等青年會の代表を紹介すれば、

劍道試合出場選手
木下原吾君 原 定治君
林 一夫君 木下幸男君
金子久男君 林 健治君
雄辯大會出場辯士

十一月一日より之を實行し、會員交代にて雨の朝も風の朝も、さては吹雪荒れ狂ふ寒風の朝も毎朝五時半を期し振鈴して、平内を巡廻し、各戸に呼び掛け早起習慣を促し、引いては各自の労働従事の時を早からしめ、一日の労働時間の多きを計り、以て非常時農村の打開策に努めてゐる。

此の習慣を一昨月十一月一日より昨年五月十日迄一日と休みなく實施し、其の後は農繁期に付き休み、再び本年一月廿五日より之を實行してゐるこの振鈴を聞いてより各家庭は、朝飯の仕度に、朝の掃除に、又婦人會の八幡神社へ皇軍將兵武運長久祈願日参りの地平内各戸の神社参拜の足駄の音が小池細道に斷へない。

各支會雜報

● 桐林支會
一、年始總會 一月一日
出席會員五十名大盛況

● 体育會 一月十五日
男女青年合同にて終日跳躍の兎公の如くはね廻る

● 青年講習會 男女合同
一月十九日より廿日
講演と戦役勇士追悼の會、銃後にふさわしき大事業

● 代用品展覧會 一月廿四日
新知識を大いに收得

● 寒稽古 体育部に
一月廿四日より卅一日迄寒氣肌をも凍らす午前五時より二時間宛

● 辯論會 二月五日夜催す
若人大雪を冒して大熱辯

● 長野原支會
一月一日 年始總會
退會式(男女合同)
一月六日 本年度入管及入植者壯行會(男女合同)
一月十日 廿日
寒稽古午前五時一七時

移轉御披露

弊館儀此度營業擴張ノ爲元時又下平自轉車店跡へ移轉致シ室内寫場等モ完備シマシタ。平素ノ御愛顧ニ報ユル爲懸身努力勉強以テ御満足ヲ期シ御下命ニ應ジマス何卒倍舊ノ御引立ノ程切ニ懇願致シマス

○三月十日ヨリ全二十日マデ
開業八週年記念爲謝恩割引致升口
時又町(二百目樂器店前)

福與寫眞館

每位御引立下され御禮申上ます
時計の修繕は勉強の當店へ

伊藤時計店

ラヂオの新設と修理は

放送局ラヂオ技術受講者の
お手近な小店へ御相談を……

竜丘電氣組合各社
ラヂオ囑託(特約店) 二百目樂器店
電話十九番

小池青年 再振鈴會

支那事變勃發するや益々我等青年は強固なる青年思想と、常に身体の鍛錬に努め、困苦欠乏に打ち克つたの覺悟を持たなければならぬ。又幾多先輩將兵を國防の第一線に送り我々銃後にある青年は一層の奮闘を加へ銃後の護りをしなければならぬと痛感するものである。

此の非常時局に桐林青年會第二班、小池青年會では會員一致團結し、國民精神總動員の實踐化初歩として、一昨年十月廿五日早起振鈴會を組織し

小學生十數名参加

一月十四日夜
カルタ會(男女合同)
一月廿日 寒稽古納會
皆勤者青年一 少年四名
一月卅一日 試験會
午後十一時一翌朝二時
農學校生徒數名参加
其他、縣道除雪作業數回
定期圖書貸出

○上川路支會(男女合同)
一月廿二日 自治講習會
靜座 御製 漢詩 珠算
音樂 所感 會歌
一月廿三日
靜座 御製 漢詩 珠算
音樂 會歌
一月廿四日
靜座 御製 討論會
音樂 會歌
一月廿五日

靜座 御製 音樂レコード

所感發表 會歌
○時又支會
一月廿日より廿七日まで
午後七時より夜間劍道寒稽古
一月廿八日より卅一日迄
男女合同講習會
一月廿八日午後七時一十時迄
珠算講習會、長谷川先生
一月廿九日午後七時一十時迄
漢詩朗吟會 北澤小太郎氏
一月卅一日午後七時一十時迄
討論會

ラヂオの新設と修理は

放送局ラヂオ技術受講者の
お手近な小店へ御相談を……

竜丘電氣組合各社
ラヂオ囑託(特約店) 二百目樂器店
電話十九番

移轉御披露

弊館儀此度營業擴張ノ爲元時又下平自轉車店跡へ移轉致シ室内寫場等モ完備シマシタ。平素ノ御愛顧ニ報ユル爲懸身努力勉強以テ御満足ヲ期シ御下命ニ應ジマス何卒倍舊ノ御引立ノ程切ニ懇願致シマス

○三月十日ヨリ全二十日マデ
開業八週年記念爲謝恩割引致升口
時又町(二百目樂器店前)

福與寫眞館

每位御引立下され御禮申上ます
時計の修繕は勉強の當店へ

伊藤時計店

